



瑞中だより

学校だより 第 9 号

平成30年 10月15日

瑞穂町立瑞穂中学校

〒190-1211 瑞穂町石畑 1961-1

TEL 042-557-0070

天籟（てんらい）

校長 池谷 芳彦

風の吹き方は様々であるが、もろもろの穴に当たればもろもろの音を出し、その音は全てそれぞれの穴が自然に出しているのだ。その音を出させようとしているのは、いったい、誰なのであろうか（そんなものはいない）、と。天地自然の世界には風を吹かせて木々に音を出させようとしている者（主宰者）などはいない。・・・そして、木の穴に風が当たって出る音は、風と穴それ自体が発する自ずからのものだ、と認識するとき、その音こそ天籟に他ならない。

風に吹かれる木々が万籟（ばんらい）の声を発するように、我々の心もまた瞬時もざわめきをやめない。我々の心のざわめきもまた自然の働きとして認識されてくる。心の働きは意識の関わらないところで勝手に動く。心に真宰（しんさい）があるようであるが、その痕跡は得られない。情況はあっても形はないのだ。【蜂谷邦夫「老子・荘子をよむ」より】

今、瑞穂中では、生徒の皆さんの歌声が響いています。まだ練習中なので、荒削りな状態です。それでも中学生の声って美しいなと感じます。変声期を向かえると少年時代のような美しい高音が出せなくなりますから、中学生の男声は大変です。時期を越えると、バスのような低音を出せるようになります。合唱の良いところは、はじめのうちは一人一人の発声がバラバラでも、練習を重ねるうちに、少しずつそろっていき、やがて一つの美しい響きになるところだと思います。

音楽って不思議です。音は一瞬でも、誰かと響きあうと永遠になる。合唱コンクールでは、その取り組みの中で、一人一人が自分の学級のまとまりや団結を感じることができるはずですが、

私がまだ若かった頃、学級担任をしていましたが、一つの学年に8学級あり、学級対抗の行事等で1等賞を取ることは大変でした。特に、担任として、音楽的な指導ができない合唱コンクールでの金賞は、目標だけけれどかなりハードルが高いものでした。さらに、若気の至り？で生徒理解も不十分だったこともあり、学級のまとまりもよくなかったと思います。よくわからない気合いだけで突っ走っていました。合唱で気合いだ！と怒鳴っても逆効果で、生徒の声が出るはずありません（生徒の歌声よりも先生の注意の声の方が大きい）。いつのまにか自分が鬼の形相になっていることに気が付きませんでした。知らず知らずのうちに、生徒に歌うこと、声を出すことを強要していたのです。しかも当時、合唱コンクールの会場は学校の体育館が当たり前で、コンサートホールのような響きは出にくいので、声量ばかりにとらわれていました。

そんな中、担任として、もう諦めの境地で出てきた一つの成功？が「天籟を聴こう！」でした。天籟といっても生徒には難しいので、次のように伝えました。

先生（私）「今度の合唱コンクールで金賞を取る秘策をこのクラスだけに教える。他のクラスには内緒だ。このクラスには合唱が得意な人もいれば苦手な人もいる。得意な人は苦手な人を責めてはダメだ。本番までにしっかり練習して、下手でもいいから全力で歌おう。そして、他の人の声をよく聴き、心を一つにすること。」

生徒「(ぼかーん)」

先生「実は、本校の体育館には伝説があって、全力で歌い、心を一つにしようとした者だけに聞こえる残響があるんだ。その音を聴けた者は幸せになれる。願いが叶う。」

生徒「ほんとに～。先生 どんな音ですか？」

先生「無音。」

生徒「えっ！それじゃ、わからない。そもそも聞こえないじゃん。」

先生「うーむ、その～、歌い終わった直後の、、一瞬の静寂の中、ほわーん♪ みたいな。」

生徒「(大爆笑)」

私も「ほわーん♪」で大笑いしてしまい、この時、鬼から仏の笑顔になれたと思います。携帯やスマホの無い時代でしたが、生徒間の情報網はすごいもので、翌日には、、

生徒「先生、部活の先輩に聞いたけど、そんな体育館の伝説 聞いたことないって。」

生徒「おんぼろ体育館のきしむ音じゃねえのか。ギリギリ（笑）。」

先生「おいおい。内緒だって言ったのに。」

生徒「先輩に聞いただけで、他のクラスには言っていないもん。」

生徒「サッカー部の先輩は、また、先生のたわごとだよ だって。」

そして本番。なんと、これまでで、一番いい合唱になりました。金賞こそ取れませんでした、生徒からは「聞こえた」という声がいくつかあがったのです。

生徒「先生、俺、全力を出しきったせいか、なんか聞こえたような気がするんだ。」

生徒「私も聞こえた気がする。そして、幸せな気持ちだった。願い、叶うかな？」

生徒「ええっ！ほんとに？ 私、頑張ったけど、聞こえなかったな。余裕もなかったし。」

生徒「金賞クラスの生徒は、みんな聞こえたのかなあ？」

先生「(ニコニコ)」

その後、クラスはどんどん落ち着いて、なんとなくいい学級になっていきました。

さて、瑞中生の皆さんは、スカイホールで天籟を聴くことができるでしょうか。

【平成30年度 合唱コンクール】

スローガン

～ 響 ～ Make Happiness Harmony

学級	課題曲	自由曲
1-1	夢の世界を	明日へ
1-2		旅立ちの時
1-3		地球星歌
1-4		COSMOS
1-5		大切なもの
2-1	若い翼は	ヒカリ
2-2		心の瞳
2-3		道
2-4		輝くために
2-5		あなたへ
3-1	大地讃頌	そのひとがうたうとき
3-2		信じる
3-3		はじまり
3-4		決意
7組	各学年に所属	リズムでやってみよう！！（合奏）

◎瑞穂中学校は「いじめ」を許しません！

いじめに限らず、何かありましたら学校へご相談ください。電話 042-557-0070

◎不審者に十分気を付けましょう。何かあったら、まず、「110番」！

◎瑞穂中体罰ゼロ宣言スローガン（10月）「

☆ご家庭でも積極的に進めてください

◆「STOP22！！」22時以降は、スマホ等の使用をやめましょう。

☆お子様の肖像使用について

◆本校では、学校の広報活動の一環として授業・学校行事・部活動等の生徒の様子を写真に撮り印刷物やホームページに掲載する等の活用をさせていただきます。保護者の皆様には予めご承諾賜りたくお願い申し上げます。尚、ご承諾頂けない場合は、その旨担任にお申し出ください。

☆子どもの虐待について

◆しつけと称する暴力、子の人格を否定するようなことば、無視や過度な放任も虐待に含まれます。家庭・学校・地域が一体となって、心身共に健全な子どもを育成していきましょう。